

「多施設統合退院サマリーデータベースの臨床応用についての後ろ向き研究」へのご協力のお願い

2012年1月1日から2015年12月31日までに当院で入院された患者さんを対象として「多施設統合退院サマリーデータベースの臨床応用についての後ろ向き研究」を検討させていただきたいと思っております。研究は高知大学医学部倫理委員会の承認を得て行います。

<研究の目的>

複数の医療機関から退院サマリーや症例報告を電子的に抽出し、テキストマイニング技術によって共通の文書ベクトル空間を構築した大型文書データベースを用い、類似症例の検索やDPCの自動判定を初めとした応用を試行し、技術的および法律的な課題を整理・解決していくことを目的としています。将来的には全国の主要病院における症例検索を可能にするなど大きく臨床医学に貢献できることが期待できると考えられます。

<研究の方法>

2012年1月1日から2012年12月31日までに当院で入院された患者さんを対象とします。入院時に記載された退院サマリーを電子カルテから集積します。

<個人情報の保護>

退院サマリー本文、入院年月、診断情報及びDPCコードのみで、それ以外の個人情報は電子カルテから取得することはありません。特に、取得過程でデータからは人名情報は完全に削除されます。

そして本研究終了後、すべての情報は破棄します。

<お問い合わせ>

本研究に関してお問い合わせがありましたら、

研究責任者： 畠山 豊（高知大学医学部附属医学情報センター・准教授）

電話：088-880-2539（直通） FAX：088-880-2214

までお願いいたします。